

令和5年度 校長より ⑫

低気圧の通過により夜中からの暴風が心配されましたが、生徒たちは時間通りに羽田空港に集合し、出発便に搭乗した後に予定通りに九州の空に向かって旅立ちました。11月7日（火）から10日（金）まで、2年生の修学旅行が行われました。1～5組は福岡から鹿児島に向けて、6～10組は鹿児島から福岡に向けての2コースに分かれての行程となりましたが、柳川・阿蘇・熊本・天草松島・佐世保方面におけるテーマ別体験学習や知覧特攻平和会館などにおける平和学習のほか、福岡市内や鹿児島市内の班別自主行動など、どちらのコースも同じ内容を楽しみました。2日目には2コースが合流し同宿となりましたが、夕食後に学年全員でクラスレクを行い、互いに各クラスの出し物を楽しみました。2学年でのこうした経験により生徒たちには改めて所属意識と団結心、自尊心が醸成され、最終学年となった暁には白帆祭や六国祭が本校の伝統といわれる意味を理解し、その伝統を背負い、自分たちの代（学年）のプライドを懸けてリーダーシップを発揮することとなります。本校の修学旅行にはこうした隠されたプログラムがあることも特色の一つであり、生徒たちの成長のための貴重な場ともなっています。40期生の皆さんには、修学旅行の経験を基に次年度に向けて自分自身をステップアップさせてほしいと思っています。そして、来年度の白帆祭、六国祭で新たな伝統を築いてくれることを心より期待しています。

集合場所は今年も鶴岡八幡宮でした。11月10日（金）に1年生の鎌倉探索が行われました。この行事は、社会問題などの中から自ら設定したテーマに基づいて生徒たちが事前学習を行い、問題の所在を特定し、課題の発見と解決の方法の仮説を立てたうえで、その実地検分として状況調査に出かけたものであり、総合的な探究の時間の一環として行っているものです。今後、生徒たちはグループで議論を重ねながら仮説を修正したり、解決の方法を探ったりしながら、最適解、納得解を導いていくこととなります。頭の中で正解を導く教科学習とは違い、今ある社会を改善し未来の社会を形成していく生きた学習として、生徒たちにとっては大変貴重で重要な教育活動であると考えています。1年生には、1月の発表会に向けてしっかりと取り組んでほしいと思います。

11月末に向けて、部活動等で大変嬉しい知らせが届きました。11月26日（日）に県立スポーツセンターで開催された神奈川県高等学校ウエイトリフティング新人大会においてウエイトリフティング部の2年生男子生徒が活躍し、1月13日（土）～14日（日）に東京都で行われる関東高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会に出場することが決定しました。また、11月29日（水）には県民共済みらいホールで神奈川県中学校・高等学校新聞コンクール表彰式が行われ、新聞委員会が制作した「大船新聞」が「佳作」として表彰され、来年度の全国高等学校総合文化祭への出場が内定しました。ウエイトリフティング部と新聞委員会の皆さん、誠におめでとうございます。こうした結果は、本校の部活動や委員会活動へ取り組む生徒たちへの大きな励みとなります。本大会での活躍を期待しています。

令和5年12月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆